

事前に備えるべき目標		1 人命の保護が最大限図られること
リスクシナリオ <b>1-4 暴風雪や豪雪による重大事故や交通途絶等に伴う多数の死傷者の発生</b> ※人命に直接的・重大な影響を及ぼすリスクシナリオ		
現在の取組・施策		脆弱性評価
<b>【道路交通の確保】</b>		
<除排雪体制の強化> 降雪等による道路交通の阻害を解消するため、道路パトロールを行い、社会の動向や地域の特性を考慮した効率的な除排雪業務を実施している。		局地的な豪雪・暴風雪による交通障害等に対応する必要があることから、天候に応じて道路パトロールや除排雪体制を強化するとともに、国・県との連携強化を構築する必要がある。
<b>【防雪施設の整備】</b>		
<防雪施設の整備> 冬期間における交通障害となる視界不良や吹き溜まりの防止、坂道の凍結防止等に向けて、防雪柵や融雪施設等の整備や老朽化対策を推進するとともに、雪により道路の状況が悪化する箇所について、道路パトロールを行い、除排雪による解消対応を実施している。		防雪施設について、老朽化による施設の改修や、交通量が多く吹き溜まりが常習化している箇所など、施設整備の必要な箇所については、新たに整備計画の検討を進める必要がある。 また、豪雪年を踏まえ、迅速な排雪作業に必要となる、配置バランスを考えた新たな雪置き場の整備を進める必要がある。
<b>【代替交通手段の確保】</b>		
<代替交通手段の確保> 災害発生時等に道路が通行困難となった場合の代替交通手段確保のため、鉄道事業者と情報共有を図っている。		災害発生時等に道路が通行困難となった場合に円滑に代替交通手段が確保されるよう、引き続き、鉄道事業者と情報共有を図る必要がある。
<b>【情報通信の確保】</b>		
<情報通信利用環境の強化> 災害発生時の情報通信利用環境として、市が管理する観光施設等において、無料 Wi-Fi を提供している。		宿泊施設や交通機関で Wi-Fi 利用環境が不十分なところが見受けられるため、市が管理する観光施設等での環境を充実させる必要がある。
<b>【防災意識の啓発・地域防災力の向上】</b>		
<冬季の防災意識の啓発> 豪雪災害等に対する防災意識の向上や雪下ろし事故の防止を図るため、市のホームページや広報等により啓発を行っている。		雪下ろし事故の発生防止や、落雪・雪崩等といった災害への対応に加え、降雪期・厳寒期における地震等の発生といった複合的な災害への備えの必要性等についても、周知を図っていく必要がある。

事前に備えるべき目標 1 人命の保護が最大限図られること  
 リスクシナリオ 1-4 暴風雪や豪雪による重大事故や交通途絶等に伴う多数の死傷者の発生

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要			
<p>暴風雪や豪雪による重大事故や交通途絶等に伴う多数の死傷者の発生を防ぐため、道路交通の確保に向けた防雪施設の整備や除排雪体制の強化を推進するとともに、代替交通手段の確保や住民の防災意識の醸成等を図る。</p>			
重点	対応方策 (今後必要となる取組・施策)	取組主体	重要業績評価指標 (参考値)
	局地的な豪雪・暴風雪による交通障害等に対応するため、天候に応じて道路パトロールや除排雪体制を強化するとともに、国・県との連携強化を図る。	市	除排雪路線延長 235.1km
	冬期間における交通障害となる視界不良や吹き溜まりの防止、坂道の凍結防止等に向けて、これまでどおり道路パトロールを行い、除排雪による解消対応を実施するとともに、防雪施設の整備計画の検討や老朽化対策を実施する。 また、豪雪年を踏まえ、迅速な排雪作業に必要となる、配置バランスを考えた新たに雪置き場の整備を図る。	市 県 国	
	災害発生時等に道路が通行困難となった場合に円滑に代替交通手段が確保されるよう、引き続き、鉄道事業者と一層の情報共有を図っていく。	市	
	災害発生時における情報通信利用環境を整備するため、民間事業者との連携を図りながら、Wi-Fi 利用環境の充実を図る。	市	
	引き続き、雪下ろし事故防止に取り組むほか、降雪期・厳冬期における複合災害への対応等も視野に入れながら、豪雪災害等に対する防災意識の向上に取り組む。	市	